

歯 科 健 康 診 査

表1 年度別受診者数

区 分	受 診 者			受診団体
	総 数	男	女	
24年度	11 909 [*])	9 145	2 746	17
23年度	11 509	9 043	2 466	16
22年度	12 239	9 647	2 592	17

*) 独自方式で実施の1446名含む

表2 歯周病検査（CPI）結果—歯周組織の状態について

区 分	受診者	0：健全		1：歯肉炎あり		2：歯肉炎+歯石あり		3：歯周炎あり		4：進行した歯周炎あり		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	8 236	2 526	30.7	1 808	22.0	3 745	45.5	151	1.8	5	0.1	1	0.0
	女	2 227	969	43.5	511	22.9	726	32.6	19	0.9	2	0.1	0	-
	計	10 463	3 495	33.4	2 319	22.2	4 471	42.7	170	1.6	7	0.1	1	0.0
～29歳	男	3 699	1 104	29.8	847	22.9	1 708	46.2	38	1.0	2	0.1	0	-
	女	1 204	508	42.2	282	23.4	406	33.7	7	0.6	1	0.1	0	-
	計	4 903	1 612	32.9	1 129	23.0	2 114	43.1	45	0.9	3	0.1	0	-
30～39歳	男	3 786	1 196	31.6	820	21.7	1 703	45.0	65	1.7	2	0.1	0	-
	女	882	392	44.4	210	23.8	271	30.7	9	1.0	0	-	0	-
	計	4 668	1 588	34.0	1 030	22.1	1 974	42.3	74	1.6	2	0.0	0	-
40～49歳	男	563	173	30.7	101	17.9	257	45.6	31	5.5	1	0.2	0	-
	女	126	65	51.6	18	14.3	41	32.5	2	1.6	0	-	0	-
	計	689	238	34.5	119	17.3	298	43.3	33	4.8	1	0.1	0	-
50～59歳	男	170	49	28.8	36	21.2	72	42.4	13	7.6	0	-	0	-
	女	12	3	25.0	1	8.3	6	50.0	1	8.3	1	8.3	0	-
	計	182	52	28.6	37	20.3	78	42.9	14	7.7	1	0.5	0	-
60歳～	男	18	4	22.2	4	22.2	5	27.8	4	22.2	0	-	1	5.6
	女	3	1	33.3	0	-	2	66.7	0	-	0	-	0	-
	計	21	5	23.8	4	19.0	7	33.3	4	19.0	0	-	1	4.8

CPI：Community Periodontal Index

表3 口腔診査結果—歯の状態について

区 分	受診者	要治療歯のある人		1本		2本		3本		4本		5本以上		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	8 236	3 090	37.5	1 380	16.8	699	8.5	377	4.6	240	2.9	394	4.8
	女	2 227	725	32.6	350	15.7	163	7.3	76	3.4	51	2.3	85	3.8
	計	10 463	3 815	36.5	1 730	16.5	862	8.2	453	4.3	291	2.8	479	4.6

表4 総合評価

区 分	受診者数	A：異常なし		B：要注意		C：要予防処置		D：要検査		E：要治療		F：治療中		G：その他		判定なし		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	8 236	1 330	16.1	1 273	15.5	2 237	27.2	80	1.0	2 667	32.4	649	7.9	0	-	0	-
	女	2 227	493	22.1	415	18.6	495	22.2	22	1.0	579	26.0	222	10.0	1	0.0	0	-
	計	10 463	1 823	17.4	1 688	16.1	2 732	26.1	102	1.0	3 246	31.0	871	8.3	1	0.0	0	-

表5 歯みがきの状態

区分	受診者数	1：良好		2：ほぼ良い		3：やや不良		4：不良		5：記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	8 236	1 678	20.4	4 355	52.9	2 017	24.5	185	2.2	1	0.0
	女	2 227	847	38.0	1 140	51.2	213	9.6	27	1.2	0	-
	計	10 463	2 525	24.1	5 495	52.5	2 230	21.3	212	2.0	1	0.0

表6 唾液潜血検査

区分	受診者数	-		+		++		検査中止		
		数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	8 236	7 073	85.9	1 079	13.1	83	1.0	1	0.0
	女	2 227	1 993	89.5	213	9.6	21	0.9	0	-
	計	10 463	9 066	86.6	1 292	12.3	104	1.0	1	0.0

歯周病の知識

歯周病（もしくは歯周疾患）は専門学会にて分類されています。大別すると「歯肉」に限局した病気なのか「歯槽骨」や「歯根膜」に達する（より重度の）病気なのか、ということです。

表 歯周病の分類（抜粋）

- 1. 歯肉病変
 - 1) プラーク性歯肉炎
 - 2) 非プラーク性歯肉炎
 - 3) 歯肉増殖
- 2. 歯周炎
 - 1) 慢性歯周炎
 - 2) 侵襲性歯周炎

歯肉炎は比較的軽症で、治療と日常のケア（ブラッシング）で治癒することが可能です。歯周病は

骨など歯周組織にまで波及した状態なので、完全に元には戻らず、継続した医学的管理（定期的な歯科受診および専門的なセルフケア）が必要になります。

歯周炎は自然治癒がないのです。歯周炎が見つかったら、それは早期に受診行動をとり、生涯に渡り咬むことができるように（歯を失わないように）管理する必要があります。これは慢性的、いわば生活習慣病なのです。

下に代表的なお口の状態を示します。写真は高血圧治療に用いられるカルシウム拮抗薬の副作用で発症することがある「歯肉増殖症」です。歯茎が増殖して、食事の際に食べ物が当たって痛くて噛めない、という状態です。お口の健康と全身との関連を知ることで健康管理意識を高めて欲しいと思います。



薬物性歯肉増殖症の例

野村典生、菅 武雄、山本 健、新井 高、森戸光彦：「糖尿病を伴う高血圧症・不整脈患者に発症したニフェジピン性歯肉増殖症の治療経過—術後2年経過の1症例—」老年歯学、15(1)：58-63、2000.